

【本企画】 NP2018

2018年1月2日 文責：植松美南

## [調査新]

〈メンバー〉

前半：[バグダダ] PL田代颯人

上杉尚礼

加納玲奈

分部広遥

後半：[ラムジョティ] PL 植松美南

上杉尚礼

関美凜

三隅友莉子

中島雄大

野口航椰

川地花奈

〈企画背景〉

- ・今まで支援してきた学校にJICAの支援が決まり、支援先を広げてもいいのでは、という意見が出た。
- ・スシルから提示された学校の状況がわからない。

〈企画目的〉

新たな支援先候補(バグダダ・ラムジョティ)の状況を把握するため。

〈企画内容〉

- ・先生、学校に出資している地元の人、生徒に調査・KIVO紹介
- ・学校の設備調査

〈ゴール〉

調査後、今後2校に対して支援をするか否か決定する。(決定の際、話し合いは9,10期で、最終的な判断は10期で行う。)もし支援する場合は今後の方針も立てる。

〈理念・VISION・モットーとの関わり〉

新たな学校を調査することで、いままでの支援先を客観視することができ、もし支援が決まった場合は『夢の想像から未来の創造へ』というVISIONへより多くのネパールの子供達を近づけることができ、また支援しない場合現在の支援に活かすことができる。

〈企画詳細〉

Who(誰が誰に)

●対象

バグダンダ(前半)、ラムジョティ(後半)

Where(どこで)

●実施場所

各校の教室

How much(何が必要で経費がいくらかかるのか=予算)

●必要なものとその予算

- ・ボール×2(216円)
  - ・折り紙×12(1296円)
- 合計1512円(予定)

●KIVO紹介

- ・写真パネルを使って紹介する
- ・募金で使ってる英語模造紙を使う
- ・毎年行っている現地広報を利用する

●質問

・生徒への調査は、学年関係なく紙でのアンケートにする。(ただしない低学年)

●交流

(前半)・折り紙

(後半)・全校を4チームに分けてドッジボール

〈当日のタイムスケジュール〉

1時間→学校に出資している地元のひと、先生に調査・KIVO紹介

30分→学校の設備調査

2時間→生徒にKIVOの紹介・調査・交流

〈今後のスケジュール〉

- ・ 質問事項まとめ 12/31まで
- ・ KIVO紹介 12/31まで
- ・ 交流企画 1/10まで
- ・ マニュアル作成 1/20まで

〈懸念点〉

- ・ 当日低学年など特に、英語が通じるかわからないため、通訳の人を用意する必要がある。
- ・ 前半と後半で、それぞれの学校のクラス数や生徒数が異なるため、タイムスケジュールは前後半で調節する。

〈その他、伝えたいことや思い〉